

<別紙1>

第三者評価結果報告書

①第三者評価機関名

株式会社R-CORPORATION

②施設・事業所情報

名称：つくし保育園 東戸塚	種別：認可保育所
代表者氏名：谷口 絵美	定員（利用人数）：60名
所在地：〒244-0801 横浜市戸塚区品濃町545-30クライテリア東戸塚1階	
TEL：045-825-1555	ホームページ： https://shuhokai.or.jp/tsukushi/
【施設・事業所の概要】	
開設年月日：2012年04月01日	
経営法人・設置主体（法人名等）：社会福祉法人 秀峰会	
職員数	常勤職員：12名 非常勤職員：6名
専門職員	（専門職の名称）：名
	保育士：16名 看護師：1名
	幼稚園教諭：10名 保健師：1名
施設・設備 の概要	（居室数） （設備等）
	乳児室 調理室
	保育室 事務室
	 幼児用トイレ 調乳室

③理念・基本方針

<理念>

- ・人間が主体である。
- ・連帯の輪を無限に広げていく。
- ・日に日に新たな今日を創造していく。

<基本方針>

1. 自分で生きてゆく力を養う（自律）
2. 人と協調して生きる力を養う（社会性）
3. 美しさを感じる感性を育む（センスオブワンダー）

<保育目標>

1. 受容された安全な環境の中で、主体的な活動を楽しみます
2. 人に対する愛情や信頼感をもとに思いやりの心を育みます
3. 子ども同士の遊びを通して生きる力を育みます
4. 自然や文化に触れながら豊かな感性を養い子どもの夢を育てます
5. 保護者の方と話し合いながら共に考え、共に成長をみつめていきます

④施設・事業所の特徴的な取組

〈つくし保育園東戸塚の特徴的な取り組み〉

- 保育士一人ひとりのレベルにあった研修（内部、外部）に積極的に参加し、スキルアップを図る。その後、園内研修につなげ、園全体の質の向上を図っていく。
- クラス活動と異年齢での活動をバランス良く取り入れ、1日の保育を行っている。

⑤第三者評価の受審状況

評価実施期間	2021年05月27日（契約日） ～ 2021年12月28日（評価結果確定日）
受審回数（前回の受審時期）	1回（2016年度）

⑥総評

【つくし保育園東戸塚の概要】

●「つくし保育園」の「つくし」の命名は、「つくしのような強い生命力のある子どもの育成」をねらいとして銘うち、子どもの姿を、真っすぐ空に伸びる強い生命力を持ち、様々な環境の中で逞しく成長する姿と重ね合わせています。つくし保育園上大岡では、成長の大切な時期である乳・幼児時代の子どもの、様々な体験を仲間と一緒に楽しみ、生きる力の基礎を育む保育を行っています。

●保育理念は、「自律」・「社会性」・「センスオブワンダー」の3つのキーワードで示され、「自律」とは、自分で生きてゆく力を養う、「社会性」は、人と協調して生きる力を養う、「センスオブワンダー」は、美しさを感じる感性を育む、を掲げ、日々の保育に組み込み、実践しています。つくし保育園東戸塚では、子どもたちに「つくしの芽」の時代から、3つの理念に沿った豊かな園生活を送ってほしいと願い、保育に当たっています。

●つくし保育園東戸塚は、JR横須賀線東戸塚駅から徒歩7分程度で、環境整備がされた緑豊かな美しい街並みの中に位置しています。平成24年に社会福祉法人秀峰会（以下、法人という）の保育事業の認可保育園として開園し、定員60名にて0歳～5歳児までの保育を行っています。園舎は、建物の1階全体を利用した保育園であり、同建物には高齢者住宅や、法人が運営する福祉関連の介護事業所もあり、協働で福祉サービスを提供し、地域に貢献しています。

●今年度は、昨年来の新型コロナウイルス禍や異常気象が続く中、安心・安全に対する取り組みを重点的に実施し、子どもの安全第一優先で保育を進めています。法人では毎月23日を「安全の日」と設定し、組織全体でヒヤリハットを含む事故報告書の中から危険要因を抽出し、協議・周知・共有を図り、より良い保育につなげる努力をしています。充実した保育に向けて、人権、虐待等、子どもを取り巻く事項について園内研修を行い、新型コロナウイルス禍にも環境にも負けない、「強い」保育体制に努めています。

◇特に評価の高い点

1. 【「羅針盤」の有効活用】

●法人では、基本的考え方をまとめた「羅針盤」を職員に配付し、常に携帯して困った時、行き詰まった時等、「羅針盤」を見て活路を見出せるようにしています。「羅針盤」は片面に理念・宣言を、もう片面に接遇、利用者の尊重、規律・法令を遵守する旨を記載し、法人の考え方、含蓄のある内容が網羅されています。ある意味、法人の「期待する職員像」でもあり、園では、研修のテーマとして階層別に話し合い、さらに理解を深め、全職員が同じ気持ちで保育に当たっています。

2. 【高齢者との交流】

●法人は高齢分野で高い実績を誇る法人であり、支援を展開する中、保育事業の「つくし保育園東戸塚」の園児との交流も推進し、世代を超えた交流は双方にメリットをもたらしています。つくし保育園東戸塚では、法人が運営する園舎隣の高齢者施設「希望の大地」、「ヘルパーステーション」及び法人系列法人が運営する高齢者デイサービス施設等の高齢者と交流する機会を持っています。子どもたちは高齢者から地域のことや、昔の遊びの知識を知り、礼儀作法等を学ぶ機会を得、また、核家族では得られない環境を味わう等、高齢者との自然な交流の中で多くの学びを得ています。新型コロナウイルス禍で2年弱、交流回数が少なくなっているものの今後も継続して連携を続けていきます。

3. 【保護者及び地域の子育ての支援の推進】

●つくし保育園東戸塚では、地域の子育て支援に力を入れています。園が位置する地域はマンション等の集合住宅が多く、町内会の取り組み・交流にも希薄な一方、核家族化が進み、子育てについて相談を求める家庭も多く、潜在的な支援の必要がみられる地域です。つくし保育園東戸塚は、地域の子育て支援の推進に力を入れ、夏場は建物2階部分にある屋上園庭のプール開放を実施し、地域の親子に楽しんでもらっています。また、園児学者への保育相談等も積極的に行い、近隣の子育て親子への貢献を進めています。さらに、園では、近隣の小規模保育園と提携し、2歳児以下の子どもとの交流や、3歳児時点での転園児の受け入れ等を行い、地域支援を行っています。

◇改善を求められる点

1. 【職員の確保】

●職員の確保について、それぞれの園での課題でもありますが、採用について、基本に立ち返り、実習生の受け入れの促進を図り、近隣の保育士養成校、職員の出身校等へのアプローチと共に実習生の受け入れを進めることが有効に思われます。法人本部では、人材確保に向けて新たな施策として「リクルーター制度」を導入し、入職歴3年前後の職員を起用する取り組みを行っています。また、学校訪問の代案として園の状況をZOOMで説明する等、新卒者の就職活動に向けてPRを始めており、今後も継続して職員の確保の取り組みに期待いたします。

⑦第三者評価結果に対する施設・事業所のコメント

施設名： つくし保育園 東戸塚

<評価（自己評価等）に取り組んだ感想>

今回は、0、1歳児、2、3歳児、4、5歳児の3グループに分かれて評価を行った。前回とは内容が違い、特に共通評価Ⅰ、Ⅱでは法人の経営状況、事業計画、今後のビジョン等、保育士はしっかりと把握できていない部分が多く、評価をすることが難しかった。日頃、保育をしていると法人の経営状況まで知る機会がないので、何かの機会伝えて行かなければならないと感じた。

共通評価や内容評価に関しては、園の運営や保育内容、指導計画等、日々関わっていることなので評価は行いやすかった。自分の保育や保護者対応等、振り返り考え評価することはあまりないので、職員にとっても、園にとっても日々の行動を振り返る良い機会になった。

利用者アンケート結果では、全体的には満足してもらっているようだが、細かい所を見て行くと、伝えつつもりが伝わっていないこと等、改めて保護者の声を聞くことができ、気づくことが多くあった。職員の対応については、満足しているという意見が多く聞けたことは、職員のモチベーションにもつながった。

<評価後取り組んだ事として>

1. まずは、職員全体で今回の評価の結果を共有し、園として取り組むこと、職員一人ひとりが取り組むこと、直ぐにできること、そうでないこと等を分類した。
2. 園として人材の確保や、育成計画等を見直す。保育に関しては、部屋の構造上、各クラスの部屋がないので、全員が室内で過ごす雨の日等は、職員同士連携を取り部屋の使い方を工夫し、よりクラスの活動も保障していく。
3. 保護者に周知しなければならないことは、書面で配付、園内に掲示、園メールで周知等、内容によって使い分け、できるだけ迅速な対応を心がけるようにした。

⑧第三者評価結果

別紙2のとおり